

[Excerpt translation]

Japanese Unexamined Patent Publication No. 11(1999)-282596  
page 4, col. 5, lines 1-5

[0035] It should be noted that, although the explanation is given above with reference to the example of playing back image files, the invention is also applicable to play back sound files. In this case, the sound file may be played back such that only a beginning part is played back in the simple playback mode, a one minute part is played back in the normal playback mode, and the entire part is played back in the detailed playback mode.

**FILE REPRODUCING DEVICE AND METHOD THEREFOR**

**Publication number:** JP11282596 (A)

**Publication date:** 1999-10-15

**Inventor(s):** TAKAHASHI HIDEMOTO

**Applicant(s):** MATSUSHITA ELECTRIC IND CO LTD

**Classification:**

- international: G06F3/048; G06F3/00; G06F12/00; G06F3/048; G06F3/00; G06F12/00; (IPC1-7): G06F3/00; G06F12/00

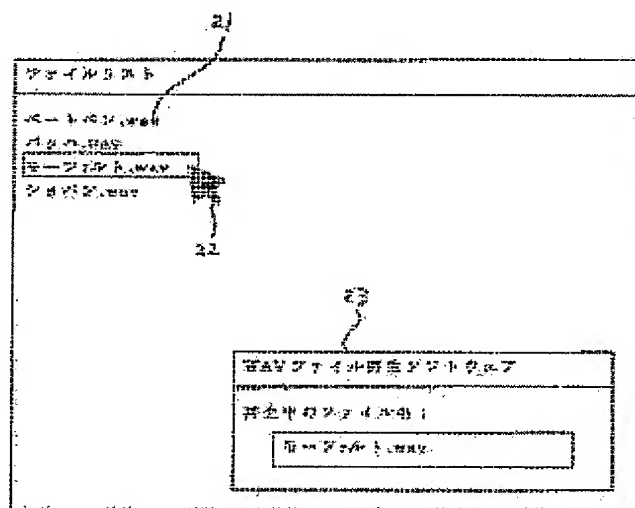
- European:

**Application number:** JP19980080842 19980327

**Priority number(s):** JP19980080842 19980327

**Abstract of JP 11282596 (A)**

**PROBLEM TO BE SOLVED:** To provide a file reproducing device which can be used in a simple operation without making it necessary to perform a double click or software searching or activating for reproducing a file. **SOLUTION:** In this file reproducing device, plural file names 21 are displayed, and the file name 21 is indicated only by a mouse pointer 22 of a mouse so that the extension the indicated file can be automatically checked, and software 23 for reproduction corresponding to the file can be activated, and the file can be reproduced.



Data supplied from the esp@cenet database — Worldwide

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-282596

(43) 公開日 平成11年(1999)10月15日

(51) Int.Cl.<sup>8</sup>  
G 0 6 F 3/00  
12/00

識別記号  
6 5 1  
5 2 0

F I  
G 0 6 F 3/00  
12/00

6 5 1 A  
5 2 0 H

審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 7 頁)

(21) 出願番号 特願平10-80842

(22) 出願日 平成10年(1998) 3 月27 日

(71) 出願人 000005821

松下電器産業株式会社

大阪府門真市大字門真1006番地

(72) 発明者 ▲高▼橋 英基

大阪府門真市大字門真1006番地 松下電器  
産業株式会社内

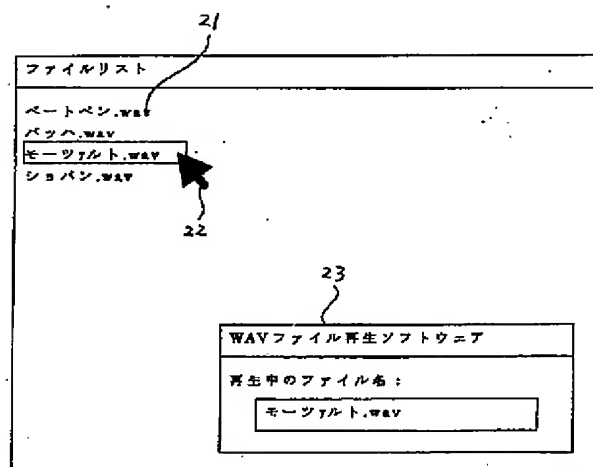
(74) 代理人 弁理士 滝本 智之 (外 1 名)

(54) 【発明の名称】 ファイル再生装置および方法

(57) 【要約】

【課題】 ファイルの再生をするために、ダブルクリックの操作をしたり、ソフトウェアを探しそれを起動したりする操作を不要にした簡単な操作で使用可能なファイル再生装置を提供する。

【解決手段】 ファイル名 21 が複数表示されており、そのファイル名 21 をマウスのマウスポインター 22 で指すのみの操作で、その後自動的にその指されたファイルの拡張子を調べ、そのファイルに合った再生用のソフトウェア 23 を起動しそのファイルを再生する機能を備える。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】マウス、トラックボール、ペン等の入力手段を用いてファイル名またはファイルアイコン等のオブジェクトを選択して再生するファイル再生装置において、前記入力手段のポインターを一定時間以上所望のオブジェクト上に指し示すことにより自動的にファイルを再生する手段を有することを特徴とするファイル再生装置。

【請求項 2】マウス、トラックボール、ペン等の入力手段を用いてファイル名またはファイルアイコン等のオブジェクトを選択して再生するファイル再生装置において、前記入力手段の一度のクリックで自動的にファイルを再生する手段を有することを特徴とするファイル再生装置。

【請求項 3】マウス、トラックボール、ペン等の入力手段を用いてファイル名またはファイルアイコン等のオブジェクトを選択して再生するファイル再生装置において、前記入力手段の所定時間内におけるクリック回数に応じてファイルを再生するモードを自動的に切替えて再生する手段を有することを特徴とするファイル再生装置。

【請求項 4】マウス、トラックボール、ペン等の入力手段を用いてファイル名またはファイルアイコン等のオブジェクトを選択して再生するファイル再生方法において、前記入力手段のポインターを一定時間以上所望のオブジェクト上に指し示すことにより自動的に再生する手段を有することを特徴とするファイル再生方法。

【請求項 5】マウス、トラックボール、ペン等の入力手段を用いてファイル名またはファイルアイコン等のオブジェクトを選択して再生するファイル再生方法において、前記入力手段の一度のクリックで自動的にファイルを再生する手段を有することを特徴とするファイル再生方法。

【請求項 6】マウス、トラックボール、ペン等の入力手段を用いてファイル名またはファイルアイコン等のオブジェクトを選択して再生するファイル再生方法において、前記入力手段の所定時間内におけるクリック回数に応じてファイルを再生するモードを自動的に切替えて再生する方法を有することを特徴とするファイル再生方法。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ファイルを再生する機能を有するコンピューター等のファイル再生装置に関するものである。

## 【0002】

【従来の技術】従来のファイル再生装置においては、次の操作方法でファイルを再生する方法が提供されていた。

【0003】第 1 の方法は、ファイルリストに表示され

たファイル名をマウス等でダブルクリックして再生する方法である。

【0004】第 2 の方法は、再生したいファイルに合った再生用のソフトウェア（アプリケーションソフトウェア）を起動した後、再生するファイルを選択する方法である。

## 【0005】

【発明が解決しようとする課題】上記従来の第 1 の方法では、マウスのダブルクリックの操作は約 0.3 秒以内にすばやく 2 回クリックすることが必要である。ところがこの操作は習熟を要し、特に高齢者では困難な場合が多かった。

【0006】また第 2 の方法でも、それぞれのファイルに合った再生用のソフトウェアを探しそれを起動し、更に再生するファイルを選択するという多くの操作が必要となるため面倒であった。

【0007】そして第 1 の方法と第 2 の方法のいずれの場合でも、多数のファイルを少しずつ再生し内容を確認したい場合、操作を繰り返すことになるため操作手順が更に多くなり使い勝手が悪く、使用者が疲労するという問題があった。

## 【0008】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するために、本発明のファイル再生装置では、ファイルリストのファイル名やファイルアイコン等をマウスのポインター（矢印）で指すのみの簡単な操作でファイルの自動再生を可能にし、使い勝手の向上をはかることができる。

【0009】また、所定時間内のクリック回数に応じてファイルの再生モードを切替えることによりファイル内容を簡易的に見たいあるいは詳細に見たいといった場合の切替えが簡単に可能となる。

## 【0010】

【発明の実施の形態】本発明の請求項 1 に記載のファイル再生装置は、マウス、トラックボール、ペン等の入力手段を用いてファイル名またはファイルアイコン等のオブジェクトを選択して再生するファイル再生装置において、前記入力手段のポインターを一定時間以上所望のオブジェクト上に指し示すことにより自動的にファイルを再生する手段を有することを特徴とするファイル再生装置であって、入力装置のポインターを一定時間以上所望のオブジェクト上に指し示すことにより自動的に再生する作用を有するのでダブルクリック等の操作が不要になる。

【0011】また、請求項 2 に記載のファイル再生装置は、マウス、トラックボール、ペン等の入力手段を用いてファイル名またはファイルアイコン等のオブジェクトを選択して再生するファイル再生装置において、前記入力手段の一度のクリックで自動的にファイルを再生する手段を有することを特徴とするファイル再生装置であり、入力装置の一度のクリックで自動的に再生する作用

を有する。

【0012】また、請求項3に記載のファイル再生装置は、マウス、トラックボール、ペン等の入力手段を用いてファイル名またはファイルアイコン等のオブジェクトを選択して再生するファイル再生装置において、前記入力手段の所定時間内におけるクリック回数に応じてファイルを再生するモードを自動的に切替えて再生する手段を有することを特徴とするファイル再生装置であって、所定時間内のクリック回数に応じてファイルの再生モードを切替えることによりファイル内容を簡易的に見たいあるいは詳細に見たいといった場合の切替えが簡単に可能となるという作用を有する。

【0013】また、請求項4から請求項6に記載のファイル再生方法は、各々請求項1から請求項3のファイル再生装置と同様の効果を有するファイル再生方法である。

【0014】以下、図面を参照して本発明の実施の形態を説明する。

(実施の形態1) 図1は、本発明の第1の実施の形態におけるファイル再生装置の全体構成図である。

【0015】図1において、11はコンピューター本体、12は入力装置、13は表示装置、14は演算処理装置、15は記憶装置である。

【0016】入力装置12の代表的な例としてはマウス、トラックボール、ペン等があり、入力装置12の操作状況に応じて、コンピューター本体11内の演算処理装置14が、記憶装置15に格納された再生する条件設定値を基に処理し、記憶装置15に格納された適切な再生するソフトウェアを起動し、表示装置13に処理状態を逐次表示する。

【0017】図2は、同第1の実施の形態におけるファイル再生装置の再生画面の一例を示す図である。

【0018】図2において、21は再生可能なファイル名、22はマウスのポインター、23は再生用のソフトウェアが起動された状態で表示されているものである。

【0019】次に図2を用いて、ファイル再生の操作方法について説明する。画面上のファイルリストに、ファイル名21が複数表示されている(ベートベン、wav、バッハ、wav等)。そのファイル名21をマウスのマウスポインター22で指すと、自動的にそのファイルに合った再生用のソフトウェア23が起動され、そのファイルが再生される。

【0020】本実施の形態では、2秒間、ファイルポインターで指し示す必要があるものとする。

【0021】画面上では、モーツァルト、wavがマウスポインターで選択され、サウンドファイルであるのでサウンド再生用のソフトウェアが起動され再生されている。

【0022】同様にファイルが画像ファイルであれば、画像表示用ソフトウェアが起動される。

【0023】上記ファイル自動再生機能の有効・無効の切替えは、マウスの第二ボタンで切替えることが可能である。

【0024】図3は、同第1の実施の形態におけるファイル再生装置の処理手順を示すフローチャートである。

【0025】図3を用いてファイル再生の処理手順を説明する。ファイル名をマウスポインターが指したことを検出すると(ステップS1)、指されたファイルの拡張子を調べ(ステップS2)、拡張子に合った再生用のソフトウェアを調べ(ステップS3)、そのソフトウェアを起動し(ステップS4)、そのソフトウェアでファイルを再生する(ステップS5)。

【0026】なお上記実施の形態では、ファイルがマウスポインターで指されてから再生を開始するまでの時間は2秒としたが任意の時間に設定できる機能を具備して使用者の要望に委ねてもよい。

【0027】また、マウスポインターで指される対象は、ファイルがファイル名で表示されている場合のみならず、ファイルのアイコンで表示されている場合にも有効である。

【0028】また、一定時間マウスポインターで指す以外の操作方法として指す代わりに一回のクリックで再生可能にしてもよい。

【0029】また、ファイルの自動再生機能の有無の切替手段として、本実施の形態ではマウスの第2ボタンを用いたが、表示画面の一部にその切替用のアイコンなどを表示し、そのアイコンをクリックして切替わるようにしてもよい。

【0030】また再生途中に同じファイルを再度指した場合、再生後続けて再生するモード、再生しないモードを前記切替機能に具備してもよい。

【0031】(実施の形態2) 図4は本発明の第2の実施の形態に係るファイル再生装置の処理手順を示すフローチャートである。

【0032】図4を用いてマウスの所定時間におけるクリック回数に応じて再生モードが変わる例を説明する。

【0033】なお本実施の形態ではファイルは画像ファイルが選択されるものとする。まずファイル名をマウスポインターがクリックしたことを検出する(ステップS41)。次に以降4秒間で何回クリックされたかをカウントする(ステップS42)。クリックが1回の時は、簡易再生モードに移行し、320x240ドット程度の小さな表示を行う(ステップS43)。クリックが2回の時は、通常再生モードに移行し、640x480ドット程度の表示を行う(ステップS44)。クリックが3回以上の時は、詳細再生モードに移行し1024x768ドット程度の大きな表示を行う(ステップS45)。

【0034】以上のように本実施の形態によればクリック回数に応じて再生モードを簡単に切替えて再生でき

【0035】なお以上の説明では、画像ファイルの再生例を用いて説明したが、音声ファイルの再生に適用することも可能であり、簡易再生モードではさわりの部分のみ再生し、通常再生モードでは1分間、詳細再生モードでは最後まで再生するといった再生方法をすればよい。

【0036】もちろんこれらの再生モードは、実施の形態1に記載した切替機能の中に追加してもよい。この場合、クリック回数に関係なく再生モードはマウスポインターで指したときもしくはクリックしたときに一定の再生モードで再生されることになる。

【0037】なお、以上の説明では、画像ファイルの再生、音声ファイルの再生を例に用いて説明したが、再生のみならず、画像記録オブジェクトを一定時間中にクリックする回数により録画モードを変えるといた方法に適用できることはいうまでもない。

【0038】

【発明の効果】以上詳細に説明したように、本発明のファイル再生装置では、ファイル名をマウスポインターで指すのみの簡単な操作でファイルを自動的に再生する機能を有することで操作性が向上する効果がある。特に、複数のファイルを少しずつ再生し内容を確認したい場合\*

\*は更に効果が期待される。またダブルクリックが苦手な高齢者や初心者にも効果がある。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態に係るファイル再生装置の全体構成図

【図2】同第1の実施の形態に係るファイル再生装置の再生画面の一例を示す図

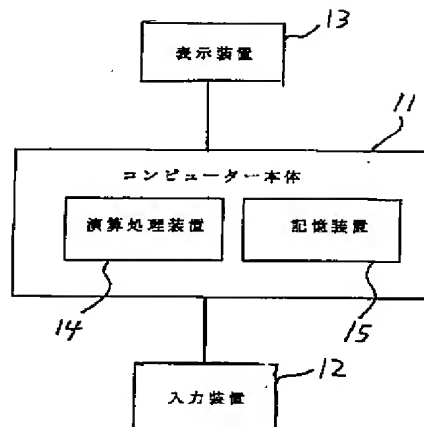
【図3】同第1の実施の形態に係るファイル再生装置の処理手順を示すフローチャート

10 【図4】本発明の第2の実施の形態に係るファイル再生装置の処理手順を示すフローチャート

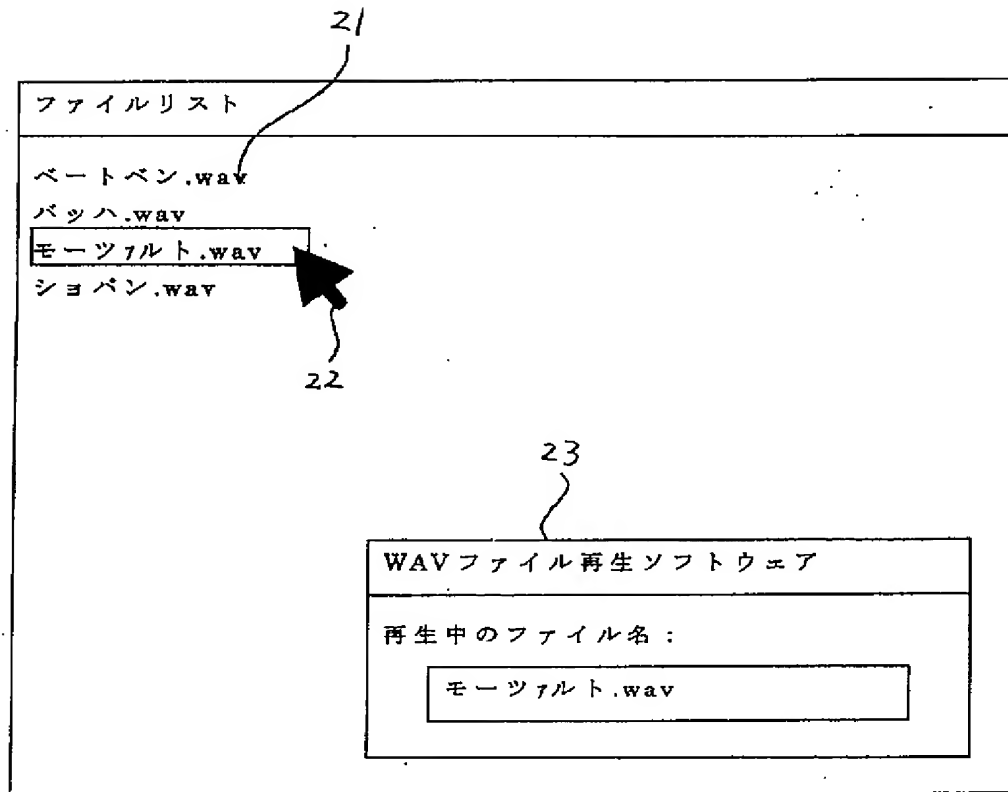
【符号の説明】

- 11 コンピューター本体
- 12 入力装置
- 13 表示装置
- 14 演算処理装置
- 15 記憶装置
- 21 ファイル名
- 22 マウスポインター
- 23 ソフトウェア

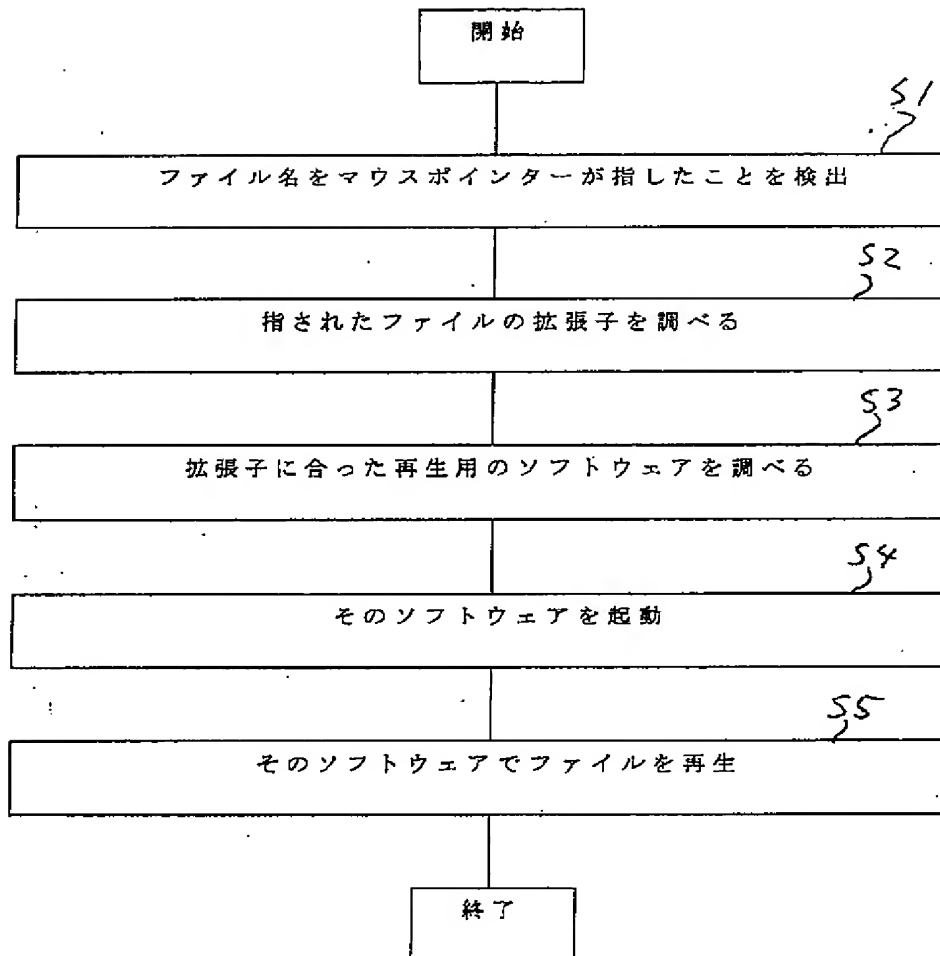
【図1】



【図2】



【図3】





【図4】

